

## 第2回 諏訪市 ICT 教育推進協議会記録

課所名

教育総務課

会 議 名 第2回 諏訪市 ICT 教育推進協議会

開催日時 令和5年12月12日(火) 午後16時00分～17時40分

開催場所 諏訪市役所 302会議室

出席者 会長:五味 康剛、副会長:大日方正壽 (敬称略)  
委員:河西一樹、岩波均、伊藤正敏、柳澤修、神谷慎介  
(欠席者) 4名 中村佳代、飯野敏行、北川大貴、尾崎剛  
事務局:三輪教育長、細野教育次長、小林教育総務課長、森教育企画係長、  
藤森主査、溝口指導主事  
(傍聴者) 2名

資 料 ◇配布資料  
No.1 諏訪市 ICT 推進協議会委員名簿  
No.2 プログラミング学習に係る研究の進捗状況と今後について ほか  
No.3 今後の情報モラル教育等の方向性について

### 協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

#### 1 開会(教育総務課長)

#### 2 教育長あいさつ

- ・今年度末には次期学習指導要領に関する論点整理が示される。今回の学習指導要領の中でのプログラミング教育を進めてきているが、一つの自治体において考えて実施する難しさを感じている。本日は今年度の実践事例も紹介させていただく。
- ・先日 PISA 調査結果が出たが、ICT に関して、整備の面では OECD 諸国内では一定程度進んでいるようである。一方で探究的な学習への活用などの面では課題感がある。

#### 3 委嘱状交付

#### 4 自己紹介(資料 No1)

#### 5 正副会長の選出

- ・設置要綱第6条の規定に基づき委員の互選により選出したい。選出方法についてご意見があるか。  
→(意見なし)
- ・事務局の腹案により会長に五味委員、副会長に大日方委員をお願いしたい。  
→(承認)

#### 6 協議

##### (1)情報共有 GIGAスクール構想に関する国の動向について

【事務局より説明】(参考資料 ※提示のみ)

##### (2)プログラミングカリキュラムの進捗状況について

【事務局より説明】(資料 No2)

##### (3)今後の情報モラル教育等の方向性について

【事務局より説明】(資料 No3)

#### (4)質疑応答

##### 【協議事項(1)関係】

- ・ハード面で事務局として認識している課題はどのあたりか。

→ネットワークに関しては、構築時の設計通りに稼働しており、大きなトラブルもなく運用できていると認識している。端末に関しては、正確な調査等に基づいた比較ではないが、他自治体の担当者と意見交換する中では故障率的なものは相対的に高くないと認識している。

→最近になりメモリ関係の故障が増えている。高価な機種ではないので、例えばメモリ交換をする場合に基盤に固定されており、修理の際に手間がかかるようである。その辺りも次回の選定に向けて検討する必要があるか。また、ソフトの面では自治体ごと違うものを使っていることが多く、異動の際に学習コストの点で教員の負担がある。

##### 【協議事項(2)関係】

- ・来年度は今年度実践した先生を中心に広めていけるような取り組みを行いたい。また、示されたカリキュラムのプロトタイプについて、全体を示すのは重要だが、まずはいくつかに絞って進めていくというのも良いのではないか。

→全体の系統性を俯瞰した上で、個別の取組を行うといったように全体か個別かではなく、両方が必要だと認識している。

- ・プログラミング教育に関して、得意、不得意な先生の差があることによる子どもたちの影響が心配される。そこに課題感を持ち進めていけると良いか。

- ・カリキュラムのプロトタイプを見ると多くの取り組みが載せられており、これほどできるのかという点で疑問を持った。

→このプロトタイプは全部やるといったものではなく、全国の事例をまとめたものである。その中からできそうなものをまずはやってみて実践を積み重ねたいといった意図である。

- ・例えば教育委員会でいくつかの単元をピックアップし、「これはやる」といった方針を示してはどうか。

→昨年度から算数の正多角形の単元などではそのような方針を示し、すでに実施できている。

##### 【協議事項(3)関係】

- ・情報モラル教育は GIGA スクール構想以前から取り組まれているが、社会的な変化としては ICT がより身近になっている。単に規制するのではなく、それを上手く使いこなせるような教育が重要だと考える。

- ・教育分野に限らずいくら規制したとしても、どんどんその裏を抜けるといったサイクルは止まらない。そうでなく親子間の相談しやすい関係性づくりに努めるなどの方向性で進めていくのが良いか。

- ・「使わせない」という方向性は今の時代に合っていないと思う。使わせつつ時間などのルールを守ってメリハリをつけるというのが重要だと考える。やはり子どもとともに学んでいくという必要があり、例えば参観日で一緒に機器を扱うといった機会があっても面白いのではないか。

- ・一昔前は課金などが重大な問題となっていたが、今は一般常識になりトラブルはかなり減っているようである。一方でネット依存が深刻になっているのではないかと感じる。

- ・タブレットへ温かく出会うといったことが重要ではないか。ネットタトゥーという言葉もあるように一度過ちを犯すと取り返しがつかなくなる。

#### 7 その他

- ・各学校でタブレット巡回講座を行ったが、やはり時間がなくて参加できないという意見を聞いた。教育委員会としても研修の時間の確保に向けた取り組みができると良いか。

- ・学校現場を見ていて、昨年度整備した大型提示装置が大変効果的に使われていた。

#### 8 閉会(教育総務課長)